

# 7 Artist File

## Modétro Saxophone Ensemble, Saxophone Quartet



## Modétro Saxophone Ensemble

(モデトロ・サクソフォン・アンサンブル)

### ●ジャンル

サクソフォン四重奏

### ●所属マネジメント

株式会社プロ アルテ ムジケ

〒112-0013

東京都文京区音羽 1-20-14 MBS 音羽ビル 5F

TEL : 03-3943-6677 FAX : 03-3943-6659

E-mail : pam@proarte.jp

### ■担当マネージャー

望月 春花

### ●アーティスト在住地

[飯塚 恭平(ソプラノサクソフォン)] 東京都練馬区

[西田 剛(アルトサクソフォン)] 埼玉県越谷市

[森田 奈旺(テナーサクソフォン)] 東京都立川市

[歌頭 諒(バリトンサクソフォン)] 埼玉県春日部市

### ●アーティスト出身地

[飯塚 恭平(ソプラノサクソフォン)] 神奈川県座間市

[西田 剛(アルトサクソフォン)] 長野県長野市

[森田 奈旺(テナーサクソフォン)] 埼玉県さいたま市

[歌頭 諒(バリトンサクソフォン)] 栃木県真岡市

## プロフィール

2021年結成。「Modétro」は、「modern (現代風)」と「rétro (古風)」を合わせた造語。バロックから現代を網羅し、その魅力をサクソフォンで伝えたい、という意を込めている。

アウトリーチでは優れたコミュニケーション能力を発揮して子どもたちに音楽の魅力を伝え、コンサートでは多岐にわたるレパートリーと小気味良いお話で会場を沸かせる、聴衆と共に時空を遊ぶサクソフォン・カルテットである。アウトリーチの様子はTBSの情報番組にて全国に放送された。

2021年に『Realize』をN.A.Tよりリリース。2022年にはあづみの新進音楽家コンサート2022に出演。

令和元年・3年度(一財)地域創造・公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業長野セッション派遣アーティスト。令和5・6年度公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト。

公式 Twitter : <https://twitter.com/ModetroEnsemble>

### ソプラノサクソフォン 飯塚 恭平 Kyohei IIZUKA

中央大学理工学部を経て、尚美ミュージックカレッジ専門学校を卒業。同校コンセルヴァトアールディプロマ科に進学。ディプロマ科在学中オーディション合格者による優秀者推薦演奏会に2年連続出演。

2020年に第1回リサイタルを開催。オーケストラや吹奏楽のエキストラとして演奏会に参加、メディアへの出演等様々な演奏活動を行う。

サクソフォンを大和田雅洋、故原博巳、田村真寛、三宅祐人の各氏に師事。

### アルトサクソフォン 西田 剛 Go NISHIDA

国立音楽大学卒業。ソリストとして名古屋フィルハーモニー交響楽団(指揮:川瀬賢太郎)と共演。客演奏者として東京フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、東京吹奏楽団等の公演に出演を重ねる。2018年プラスエンターテイメント「ワンピース音楽」、2021年には原作1000話記念特別企画「ONE PIECE おとまつり」出演。クラシック以外にも映画音楽のレコーディングやミュージカルなど様々な分野で演奏活動を展開。

### テナーサクソフォン 森田 奈旺 Nao MORITA

国立音楽大学卒業、国立音楽大学大学院音楽研究科修士課程修了。第10回横浜国際音楽コンクールにおいて最高位(第2位)受賞、第20回万里の長城杯国際音楽コンクールでは第2位及び理事長賞をそれぞれ受賞。現代音楽の演奏、新曲初演、CDレコーディング等を軸に活動する。

サクソフォンを雲井雅人、林田和之、坂東邦宣の各氏に師事。(株)スター楽器サクソフォン講師。

### バリトンサクソフォン 歌頭 諒 Ryo KATO

昭和音楽大学卒業。国際的サクソフォニストの武藤賢一郎氏が主宰する「SAXIDEA」に参加。2019年に『reborn』をN.A.Tからリリースし、音楽雑誌『音楽現代』の推薦盤に選ばれる。

2022年には出身地である真岡市の若手演奏家支援事業に採択されリサイタルを開催。佐渡裕監修「富士山河口湖音楽祭」や県庁・市庁舎、メディアでの演奏など全国各地で演奏する。

東京サクソフォンオーケストラ団長。

## 自己アピール

私たちは2021年度地域創造公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業（以下フォーラム）に参加し、小・中学校でのアウトリーチと地域でのコンサートに出演しました。

フォーラムではアウトリーチプログラムをつくるために、朝から晩まで頭から湯気が出るほど悩みました。「私たちがサクソフォンを通して何を伝えたいのか」を考えるため、まず自分自身がサクソフォンを始めたきっかけやどうしてこの道を選んだのかを深く掘り下げる必要がありました。その結果、4人の原点にあるものはクラシック音楽とアンサンブルの楽しさであり、それをプログラムを通じて伝えることを決めました。

クラシック音楽は、子どもたちにとって少し距離感があるものだと感じています。そのため、まずは子どもたちが参加しやすい空間づくりを第一に考えました。また一方的ではなく、子どもたちからも意見をもらえるような仕組みにしたいと思い参加者が能動的に参加できるプログラムを考えました（内容については後述しております）。実際にアクティビティを実施したところ、手を挙げてくれる子が多くいたり、演奏後も鳴り止まない拍手を受けたりと、私たちの想像以上の反応をたくさんもら

いました。休み時間に私たちの控室までコミュニケーションをとりに来てくれたことが印象に残っています。

アウトリーチとコンサートを経て私たちは「聴いている人との壁をすぐ取り払い、音楽との距離感を縮められること」が強みだと思いました。その時のご縁が未だに続いていることをとても嬉しく思っています。

クラシック音楽とアンサンブルの楽しさを再認識した私たちは「サクソフォン四重奏のオリジナル作品を演奏し続けること」を第一の活動方針にしました。サクソフォン四重奏の魅力はなんと言っても、同じ仲間の楽器が4本揃ったときの見た目の効果やどこでも演奏できる機動力、そして美しく迫力のあるハーモニーです。サクソフォン四重奏のオリジナル作品はこれらの特徴が分かりやすく表現されています。私たち4人が惹かれたこれらの魅力は、どんな人の心にも響くはずだと信じています。

私たちは結成3年目の新しいグループです。それぞれが持つ個性と、何より音楽とサクソフォンを愛する気持ち、そして新生グループだからこそその柔軟性を武器に、全国各地でサクソフォン四重奏の魅力を伝えていきたいです。

## この事業でできること、挑戦してみたいこと

### ■そもそもサクソフォンってなに？

サクソフォンは主に金属で構成されていますが木管楽器（フルートやクラリネットなど）の仲間です。葦で出来ているリードという薄い木を震わせて音を出すため、木管楽器に属しています。

この楽器は、吹奏楽において木管楽器と金管楽器（トランペットやトロンボーンなど）の橋渡しを目的に作られました。またパーツは600個ほど使われており、楽器というよりも精密機械に近いかもしれません。

金ピカで見た目もカッコいいサクソフォン！直接触れられるアクティビティもあります。

### ■アウトリーチアクティビティ

【サクソフォンアンサンブルの楽しさ】をテーマに2つのアクティビティを用意しています。

#### 1. 『想像してみよう！』

3つの要素から1つずつ選んでもらい、作ったシチュエーションの音楽を想像してもらうアクティビティです。

- ①主役を決める（ネズミ、ニワトリ、馬、象）
- ②感情を決める（喜怒哀楽）
- ③動きを決める（歩く、走る、寝る、踊る）

最初に指定してもらった要素を表現した演奏を聴いてもらいます。このように音楽を可視化することによって、まずはイメージを想像しやすい状態にします。それから他の演奏を聴きながら情景を想像したり、自由に想像してもらいながら作品を聴いてもらいます。その際にどんなものが思い浮かんだのかこちらから質問したり、隣の人との意見交換もし

てもらいます。受け手によってそれぞれ違うものが見えてくる面白さを実感できるプログラムです。

#### 2. 『サクソフォンを知ろう！』

サクソフォンという楽器を持ったこと、というよりも見たこともない人が多いと思います。聴くだけではもったいない！もっと身近にサクソフォンを！と思えたアクティビティです。

実際に触ってもらうためのサクソフォンを一台用意しています。そのほかにも、楽器を構成しているパーツ（リード、マウスピース、タンポ、キーなど）に触れてもらいます。重さや硬さ、どんな素材で出来ているのか実際に触ることでしっかり理解できます。日常生活では経験できない体験だと思います。

### ■コンサートプログラム

サクソフォンはクラシックやジャズ、Jポップ、童謡から演歌まで様々なジャンルの演奏が得意です。過去にはホールのスピーカーから流れる音源に合わせて演奏したこともあります。

知っている曲から知らない曲まで、一緒にアンサンブルをする仲間だから出来る軽快なかけあいと小気味よいお話と共に、楽しんでいただけるコンサートを目指しています。

### ■挑戦したいこと

「サクソフォン四重奏のオリジナル作品を演奏し続けること」、これが私たちの活動方針です。これを基にアウトリーチプログラムやコンサートプログラムを構築し、老若男女問わず楽しんでいただけるパフォーマンスを作っていきます。

## 演奏可能プログラム

### ●編曲作品

チャイコフスキー：アンダンテ・カンタービレ  
バッハ：G線上のアリア  
エルガー：ニムロッド  
プッチーニ：オペラ『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」  
グリーグ：抒情小曲集  
モリコーネ：ニュー・シネマ・パラダイス  
ドビュッシー：ベルガマスク組曲  
マスカーニ：オペラ『カヴァレリア・ルスティカーナ』より「間奏曲」  
ピアソラ：タンゴの歴史より café 1930  
ピアソラ：タンゴの歴史より bordel 1900  
モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク  
ダニーボーイ

高橋宏樹：アルルのサククス展覧会  
高橋宏樹：ラテンメドレー  
久石譲：Oriental Wind  
グレン・ミラー：Take the A train  
ガーシュウィン：ラブソフィ・イン・ブルー  
J.シュトラウス2世：トリッチ・トラッチ・ポルカ  
シャーマン：スーパーカリフラジリスティックエクスペアリドージャス  
リムスキー＝コルサコフ：熊蜂の飛行  
シフリン：燃えよドラゴンのテーマ  
ロジャース：My favorite things  
中西圭三：ぼよん行進曲  
見岳章：川の流れるように  
大野雄二：ルパン三世のテーマ  
三木たかし：津軽海峡・冬景色

### ●サクソフォン四重奏オリジナル作品

サンジュレー：四重奏曲  
デザンクロ：四重奏曲  
マスランカ：マウンテンロード  
ベルノー：四重奏曲  
パスカル：四重奏曲  
伊藤康英：琉球幻想曲  
プラネル：バーレスク  
吉松隆：アトムハーツクラブカルテット  
イトウアルデ：ギリシャ組曲  
フランセ：小四重奏曲  
ピエルネ：民謡風 rondò による序奏と変奏  
シュミット：四重奏曲  
マスランカ：レシテーションブック  
グラズノフ：四重奏曲  
ボザ：アンダンテとスケルツォ

ほか

ほか